

2020年3月期
第2四半期 決算説明資料
(2019年4月～2019年9月)

アサヒホールディングス株式会社


本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

Copyright © Asahi Holdings, Inc. All rights reserved.

(単位：億円)

	2018年度 上期	2019年度 上期	差異	2019年度 通期予想
売上収益	604	702	+98	1,350
営業利益	69	85	+16	190
営業利益率	11.4%	12.1%	-	14.1%
税引前利益	65	72	+7	168
当期利益	45	45	▲0	102
設備投資	11	14	+4	48
減価償却	12	14	+3	24

Copyright © Asahi Holdings, Inc. All rights reserved.


連結業績のポイント

営業利益	<ul style="list-style-type: none"> ■ 85.1億円：前年同期比+16.4億円 【セグメント別内訳】 貴金属事業 +7.5億円 環境保全事業 +2.7億円 ライフ&ヘルス事業 +4.4億円 その他 +1.8億円 ■ 通期業績予想の修正 営業利益予想を145億円から190億円へ上方修正 3期連続で過去最高益を更新する見込み
税引前利益	<ul style="list-style-type: none"> ■ 税引前利益72.3億円 前年同期比+7.4億円の増益
配当	<ul style="list-style-type: none"> ■ 配当方針「連結純利益の50%以上をめぐりに配当」 2019年度の配当予想：年間120円

Copyright © Asahi Holdings, Inc. All rights reserved.

AW フジ医療器の持分譲渡について

- 当社連結子会社であるフジ医療器株式の60%をジョンソンヘルステック社に譲渡。
- 健康関連機器の世界的大手のジョンソンヘルステック社との協業を通じて、海外市場でフジ医療器ブランドの展開を加速させ、**数年後の株式公開**を目指す。


■ 今後の手続きに関する日程

2019年10月29日：基本合意書締結

2019年12月上旬：株式譲渡契約締結（予定）

2020年2月上旬：株式譲渡日（予定）

フジ医療器は、第3四半期決算において非継続事業として分類され、第4四半期決算において支配喪失により連結子会社から外れる見込み。

ジョンソンヘルステック社 

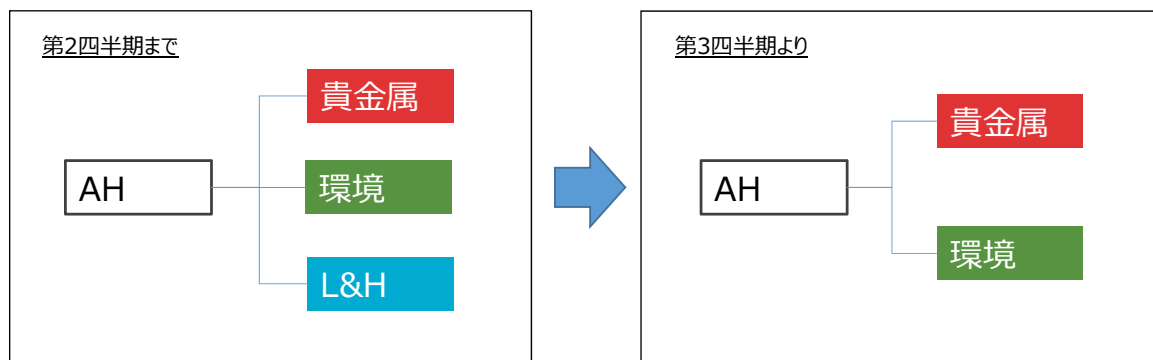
- ✓ 1975年創業。フィットネス機器等の製造・販売を行う。
- ✓ 全世界に30の子会社、300強の直営店を持つ世界的な大手企業。
- ✓ 本社は台湾の台中市。台湾証券取引所に上場。



Copyright © Asahi Holdings, Inc. All rights reserved.

AW セグメントの変更について

- フジ医療器が非継続事業として分類される第3四半期よりセグメント区分を変更する。
- これまでフジ医療器を核として形成していた「ライフ&ヘルス」セグメントを廃止し、3セグメントから2セグメントへ集約する。
- 今後は「貴金属」セグメントと「環境保全」セグメントに経営資源を集中し、企業価値の増大に取り組む。



「ライフ&ヘルス」セグメントに属していた株式会社インターセントラルは「環境保全」セグメントへ移行し、空調設備の開発・施工等を通して省エネルギー社会の実現に貢献する。

Copyright © Asahi Holdings, Inc. All rights reserved.

業績予想の修正について

- 貴金属セグメントにおいて数量面・価格面ともに好調であり、通期の業績予想を修正。
- 営業利益、税引前利益、当期利益はいずれも過去最高となる見込み。

<2019年度通期の業績予想>

〔単位：億円〕

	当初予想	修正後予想	差異	差異率	参考 フジ医療器影響 (概算)
売上収益	1,400	1,350	▲50	▲3.6%	▲200
営業利益	145	190	+45	+31.0%	▲9
営業利益率	10.4%	14.1%	+3.7%	-	-
税引前利益	143	168	+25	+17.5%	▲9
当期利益	94	102	+8	+8.5%	▲14

修正後予想は、フジ医療器が連結子会社から外れることによる影響を反映した数値

Copyright © Asahi Holdings, Inc. All rights reserved.

業績予想の修正について

- 前期実績比では+63億円の増収、+45億円の増益となる見込み。

<2019年度通期の業績予想：前期実績比較>

〔単位：億円〕

	前期実績	修正後予想	差異	差異率	参考 フジ医療器影響 (概算)
売上収益	1,287	1,350	+63	+4.9%	▲200
営業利益	145	190	+45	+31.2%	▲9
営業利益率	11.3%	14.1%	+2.8%	-	-
税引前利益	134	168	+34	+25.3%	▲9
当期利益	90	102	+12	+13.3%	▲14

Copyright © Asahi Holdings, Inc. All rights reserved.

AW セグメント別 上期実績

〔単位：億円〕

		2018年度 上期実績	2019年度 上期実績	差異
貴金属	売上収益	424	499	+75
	営業利益	65	72	+7
環境 保全	売上収益	80	90	+11
	営業利益	14	17	+3
ライフ &ヘルス	売上収益	100	112	+12
	営業利益	3	7	+4

連結	売上収益	604	702	+98
	営業利益	69	85	+16

Copyright © Asahi Holdings, Inc. All rights reserved.

AW セグメント別 通期業績

〔単位：億円〕

		2018年度 通期実績	2019年度 通期予想	差異
貴金属	売上収益	878	1,130	+252
	営業利益	120	172	+52
環境 保全	売上収益	172	※ 210	+38
	営業利益	35	※ 40	+5
ライフ &ヘルス	売上収益	237	-	▲237
	営業利益	15	-	▲15

連結	売上収益	1,287	1,350	+63
	営業利益	145	190	+45

※環境保全の2019年度通期予想に、ライフ&ヘルス事業から移管される事業の影響を含む。

Copyright © Asahi Holdings, Inc. All rights reserved.

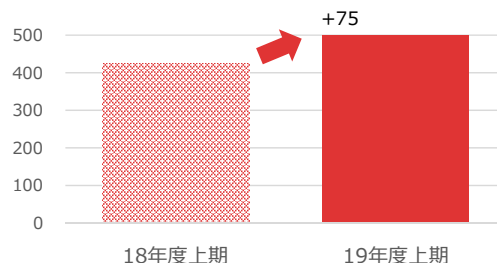
AW セグメント業績（貴金属）

- 上期：国内および韓国・マレーシアの貴金属リサイクル事業、北米の貴金属精錬事業ともに堅調に推移し、増収・増益
- 通期：期初の計画を上回る回収量と高い相場を背景に、大幅な増収・増益を見込む

〔単位：億円〕

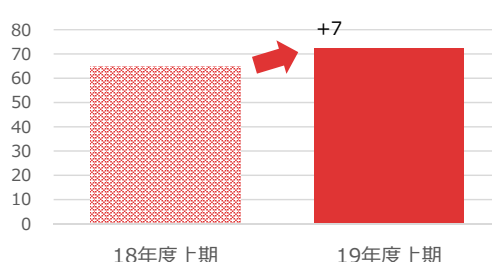
上期	18実績	19実績
売上収益	424	499
営業利益	65	72
営業利益率	15.3%	14.5%

[売上収益]



通期	18実績	19予想
売上収益	878	1,130
営業利益	120	172
営業利益率	13.7%	15.2%

[営業利益]



Copyright © Asahi Holdings, Inc. All rights reserved.

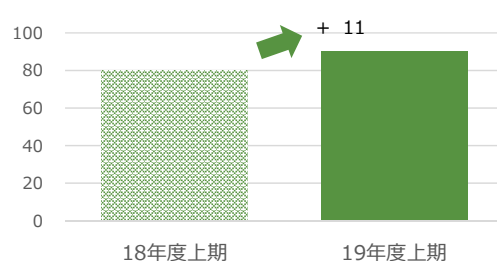
AW セグメント業績（環境保全）

- 上期：各事業会社の特長を活かしたグループ会社間連携による新規案件獲得等が奏功し、増収・増益
- 通期：L&Hセグメントから移管される売上・利益の影響を除いても、増収・増益

〔単位：億円〕

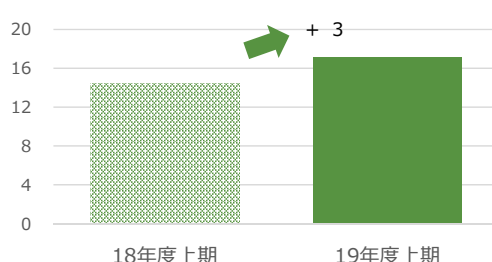
上期	18実績	19実績
売上収益	80	90
営業利益	14	17
営業利益率	18.1%	19.0%

[売上収益]



通期	18実績	19予想
売上収益	172	210
営業利益	35	40
営業利益率	20.5%	19.0%

[営業利益]



2019年度予想に、ライフ&ヘルス事業から移管される事業の影響を含む

Copyright © Asahi Holdings, Inc. All rights reserved.

AW セグメント業績 (ライフ&ヘルス)

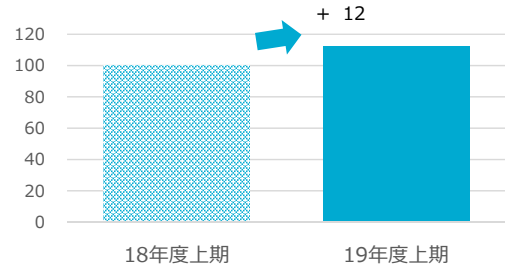
- 上期：健康機器、空調設備の分野がともに堅調に推移し、増収・増益
- 通期：2019年度上期を以って本セグメントを廃止

上期	18実績	19実績
売上収益	100	112
営業利益	3	7
営業利益率	2.5%	6.2%

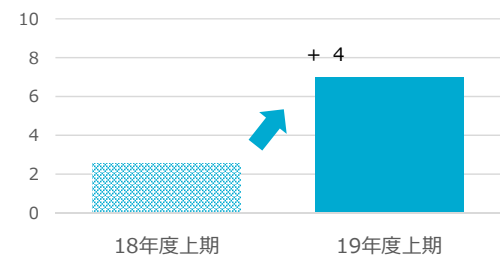
通期	18実績	19予想
売上収益	237	—
営業利益	15	—
営業利益率	6.4%	—

(単位：億円)

[売上収益]



[営業利益]



Copyright © Asahi Holdings, Inc. All rights reserved.

AW 【参考】 資産・負債及び資本の状況

- 北米金融事業の拡大による影響で、流動資産と流動負債が増加。

(単位：億円)

区分	2019年 3月末	2019年 9月末	増減額	主な増減要因	
資産	1,603	2,100	+497		
流動資産	1,138	1,612	+475	営業債権及びその 他の債権 +464	北米金融事業と 調達手段変更による 影響大
非流動資産	465	487	+22		
負債	925	1,409	+485		
流動負債	897	1,364	+467	短期借入金 +469	北米金融事業と 調達手段変更による 影響大
非流動負債	28	46	+18		
資本合計	678	690	+12		

※前年同期比較の為、2019年3月末の非流動負債のうち長期借入金を流動負債に振り替えています。

Copyright © Asahi Holdings, Inc. All rights reserved.

【参考】 キャッシュ・フローの状況

■ 北米金融事業の拡大による影響で、営業CFがマイナス。

(単位：億円)

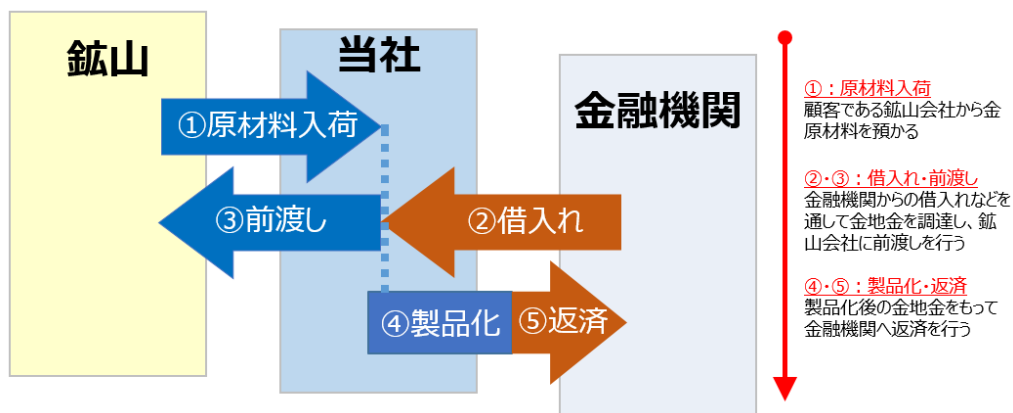
区分	項目名	2019年度 上期	主な要因	(参考) 18上期
営業CF	税引前利益	72		65
	減価償却費及び償却費	14		12
	営業債権及びその他の債権の増減額 (▲は増加)	▲477	北米金融事業と調達手段変更による影響大	▲24
	その他	▲86		▲2
	小計	▲476		+50
投資CF	有形固定資産の取得による支出	▲14		▲12
	その他	2		1
	小計	▲11		▲11
財務CF	短期借入金の純増減額 (+は増加)	480	北米金融事業と調達手段変更による影響大	0
	その他	▲26		▲21
	小計	454		▲21
現金及び現金同等物の期末残高		128		261

Copyright © Asahi Holdings, Inc. All rights reserved.

【参考】 前渡し取引（北米金融事業の代表例）

前渡し取引：北米の貴金属精錬取引では顧客の鉱山会社から預かる原材料について、通常は入荷から製品の返却まで約1週間掛かるが、顧客によってはそれよりも早期での返却を希望されることがある。この要望を受けて、通常の納期よりも早期に製品を返却することで、顧客の鉱山会社から「前渡し日数に応じた金利の支払」を受領する取引。原則として原材料を受領してから前渡しを行うため、貸し倒れとなるリスクは極めて限定的である。

■ フロー図：原材料入荷～前渡し～返済



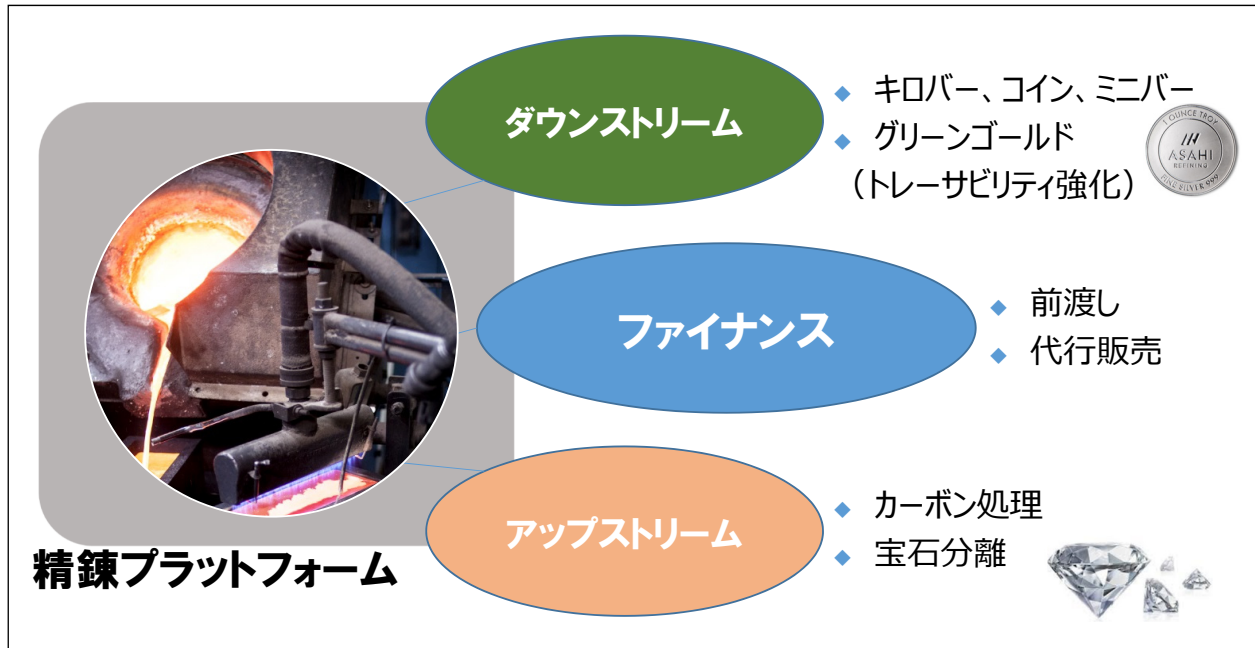
当社が工場内で金原材料を金地金に精錬するのを待たずに早期の金地金返却を行うには、外部から金地金を調達する必要があるが、その調達手段は以下の2通り。その時々金融市場動向をみながら、選択をしている。

調達手段	科目	営業利益への影響
邦銀からのドル借入れ (それによる金の購入)	金融費用	なし (税引前利益以下の項目に影響)
プリオンバンクからの金のリース	営業費用	あり

Copyright © Asahi Holdings, Inc. All rights reserved.

【参考】北米収益の拡がり

北米子会社アサヒファイニング（以下、AR）の事業は、鉱山からの金銀精錬の受託加工取引が中心であるが、精錬をプラットフォームとして、収益源泉の多様化に努めている。特に金融事業については、リスクを抑制したスキームの開発と活用に努めた結果、ARの事業収益の柱のひとつとなっており、今後も一層の拡大を計画している。



Copyright © Asahi Holdings, Inc. All rights reserved.

金属価格推移 [金・銀]

[単位：円/g]



Copyright © Asahi Holdings, Inc. All rights reserved.

金属価格推移 [パラジウム・プラチナ]

(単位 : 円/g)

パラジウム



プラチナ



Copyright © Asahi Holdings, Inc. All rights reserved.

価格推移 [金USD / Toz , ドル円]

金 USD / Toz



ドル / 円



Copyright © Asahi Holdings, Inc. All rights reserved.